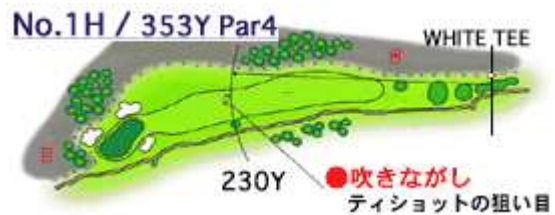


LAVISTA コース攻略シナリオ(第一版)

「ホールによって趣が異なり、考えさせられるコース。ただ打っていけば良いだけのコースではない。グリーンはスムーズさが、ベリーグッド。クラブハウス周りの明るく開放的なところと好対照の、重みのある戦略的なコースです。プレーのしがいがあります」と語ったのは、1999年「住友 VISA 太平洋クラブレディース」に出場した“メジャー・タイトルホルダー”のアニカ・ソレンスタムです。明るい陽光が眩しい地中海リゾートの趣がある池越えのホールがあると思えば、スコティッシュな趣を見せるマウンドを持つホールがあったり、また、いかにもアメリカンタイプの池絡みのホールがあったり、アニカが言うように、それぞれのホールが個性的な顔を持っています。リゾートのコースながら難易度の高いコースです。

No.1 Hole Par4 【Blue: 361, White: 334】

- ・ 比較的直ぐなミドルホール(Par は確実にとりたい、できれば Birdie も狙いたい)。
- ・ 右側だけが OB、左サイドは木が迫ってきているから引っ掛けには注意、但し左サイドのカートパスに乗るとグリーン傍まで高速道路で行ける。Tee Shot は 100~150Yard の間に届くくらいのミドル。
- ・ Green は大きく Long Putt を残すと危険。左奥に Pin が切つてあると Green Over すると OB が近いことに要注意。



No.2 Hole Par5 【Blue: 591, White: 505~567】

- ・ 左 Dog Leg ホール。
- ・ 距離が意外とあるパー5、Tee Shot は前方左側の壁・木々は絶対避けること、ショートカットは左のコーナーだが、真ん中からドロウか正面バンカー狙いのストレートで OK、二打目を左の下のフェアウェイか、右上のフェアウェイか、右狙いは OB が近くスライス出れば危険、右側のフェアウェイに置けたらピンポジションの距離感が得られる Award あり、安全なら、左右段の真ん中を狙う、150 から 100Yard くらいが残る三打目勝負(一番手上げて Shot)、Green は大きな二段になっており大概手前の段に Pin が切つてある。手前 Green は右奥から左手前に向けてなだらかな下り。右奥に外すと寄せがムズイ。三打目は大きめに打ち Green 中央の二段目の壁に当て戻すのも有効な手。



No.3 Hole Par3 【Blue: 163, White: 146】

- ・ 池越えの Short ホール。
- ・ 冬場から春にかけて右から左への風に注意。夏場は左から右への風が変わる。Tee Shot は Green 中央狙い、Pin ポジの下が原則。Pin の上や 5M 以上の真横につけると寄せさえ難しい。Pin が Green 右手前のバンカーの上に切つている時は、直接狙いは避け、Green 真ん中狙いを厳守！バンカーを越し Green にヒットさせる距離感がムズイ。

No.3H / 163Y Pat3



No.4 Hole Par4 【Blue: 454, White: 365~345】

- 左 Dog Leg の Par4。Tee Shot 勝負ホール、Back Tee から Par を取るのは至難の業、Regular Tee からの Tee Shot は(注記:冬場アゲインスト気味)、やや左前方のバンカー狙い(Bunkerまで220Yardくらい?) 左へひっかけ手前のラフや左側のバンカーへ入れることだけは避ける。距離、方向性に自信があれば、左コーナーの Bunker 右側狙い、確実に Green まで 100 Yard くらいに届く。2nd Shot は 150Yard から 100Yard 以内が残るはず。Green は左奥から右手前にかけて緩やかな下りで受け Green。Approach は Green 手前か右側の方が易しい。
- 注記:2nd の距離が 150Yard 以上残った場合(冬場の Regular Tee からでも Against になるから有りうる)、Green 手前の右側が要注意。くぼ地になっており、OB が近い。

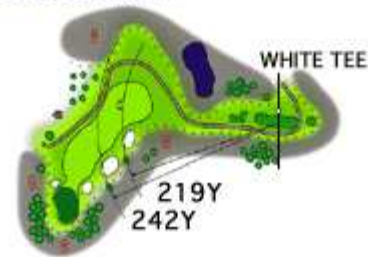
No.4H / 454Y Par4



No.5 Hole Par4 【Blue: 396, White: 357】

- 大きく左 Dog Leg し、Tee Shot は手前がけ(ラビーン)が左側をえぐっておりその先は大きなバンカーが 3 つ連続するのでフェアウェイ中央の旗狙い厳守。二打目が前左上りのムズイショットが要求される。二打目は左側 OB と Green 右側が OB、Green 右手前の Bunker に注意。つまり二打目はどこに Pin が切っけていても Green の真ん中を狙うべし。
- Green に特徴があり、奥から手前に急激に下っており最もムズイ大きな Green。Green の 1/4 奥につけたらまず Pin に寄らないから注意。そのくらい奥から速い。Green 上の右手前に小さな起伏あり要注意、Approach は手前か左横が比較的容易。絶対に Pin より下につけること。

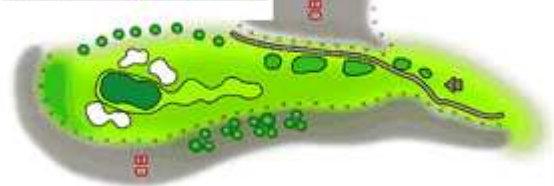
No.5H / 379Y Par4



No.6 Hole Par3 【Blue: 193~208, White: 168~175】

- 若干上りの Par3。左側が OB、右側手前に大きな Bunker、二段 Green。原則として手前から、悪くても Green 左側(グラスバンカー)から攻めればそう難しくない。下の Green は受け Green、軽く左奥から右手前に下っている。二段 Green の上段 Green に Pin を切ことは稀だが、競技では有り得る、上段に Pin があれば上段を狙わざるを得ない(10Yard の差あり)。下の Green では 3 パンチあり。
- 冬場はアゲインストの可能性が高いので距離感が大事、強い Against であれば一番手上げた方がよいだろう。

No.6H / 208Y Par3



No.7 Hole Par5 【Blue: 571, White: 520~540】

- 右 Dog Leg ホール。Tee Shot は中央の旗狙い Slice させるとOBが近い。二打目の距離を落とさないために右に曲がるコーナーの Bunker は避けたい。二打目は再びフェアウェイ中央の旗狙い。左側は近道だがグラスバンカーの大きいのが二つ連続してあり、そこにつかまると三打目を難しくする。三打目は全て左下がりからの Shot となるので、ゆっくりしっかり振っていきたい。Green 左手前の大きな Bunker の上に Pin が切つてあれば、Direct に狙うのは避け Green 中央から攻めるべき、Green 左に外すと Approach がムズイ。
- この Green も上に付けない方が賢明。Pin がどこに切つていても中央から攻めるべき。



No.8 Hole Par4 【Blue: 398, White: 375~383】

- 右 Dog Leg の距離もあるチャレンジングなホール。Tee Shot は左側が手前 OB、その先は One ペナゾーン。それを避ければ右側の Bunker が待ち構える難ホール。Tee Shot はできるだけ左半分のフェアウェイに打てれば Best、2nd 地点からは右側のコーナーの崖が迫り、Green 右手前には二本の大きな杉の木、それに Green 左手前の深い Bunker が Shot を難しくする。いいショットしても2nd 地点から凡そ150Yard 近くかそれ以上の距離が残る場合が多い。冬場・春の時期はアゲインストで距離感に気をつけよう。
- Green は全体的に大きな受け Green、できれば手前から攻めたい。Approach は Green 手前が急激な下り坂なので外しても Green 右側でないと Pin の根元が見えないことに要注意。



No.9 Hole Par4 【Blue: 416, White: 368~376】

- ほぼ真直ぐなホールだが、右側の OB ゾーンが Tee Shot を慎重にさせる。Tee Shot はフェアウェイ真ん中から左半分狙い。恐らく Regular からでも Against なら右側のフェアウェイ Bunker には届かないので思い切ってその Bunker 狙いもありの攻め方。
- 2nd Shot は Green 手前の左右のガード Bunker に注意、大きな受け Green なので Green 両奥の Bunker は気にならないはず。左の Bunker の方が Pin の根元を見れるが、右手前の Bunker は深く出すだけになりかねないので要注意。
- Green は縦に長く、横にも広い、Green に向かって、奥から手前、左から右へ傾斜、Pin が左奥めに切っていたら要注意、左下からは苦にならないが、右横、右上からは距離感が非常に難しいのでつけないようにしたい。2nd Shot はできれば Green の中央、Pin より下目が狙いめ。



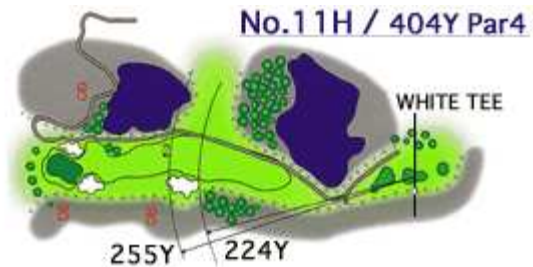
No.10 Hole Par5 【Blue: 465, White: 436~444】

- 大きく右 Dog Leg のサービスパーク5、冬場はアゲインストで思ったより距離が出難い。Tee Shot は右 Dog Leg ホールの鉄則フェアウェイ左サイドへ打っていききたい。200Yard 近い 2nd Shot なら十分 Two On が狙えるが、右のコーナーの林、高い杉の木の障害物には要注意。かと言って、2nd からの左側の林までの距離には要注意、飛びすぎると OB ラインが近い。安全にいくなら、Green から 100 から 150Yard 付近に Lay up したい。その地点からは全て左下がりの Shot。外しても Green 右サイド、左サイドはガード Bunker、奥はブッシュか Pin の根元が見えない打ち上げのラフだから、絶対に避けるべし。
- Green は左手前にマウンド、手前から奥に向かって受けている、左奥から右手前に軽く下っている。Green 右サイドからの Approach は比較的容易。



No.11 Hole Par4 【Blue: 404, White: 375】

- Tee Shot は右側手前、右奥の池は OB に注意。左側も全て OB ゆえ、フェアウェイ右半分を狙っていききたい。大概 150Yard の 2nd Shot が残るだろう。二打目からは、なだらかに上る Shot となる。左右のガード Bunker に注意。Green 中央を狙っていききたい。
- Green は上下に長く受けており、左サイドは外に流れ出易い。2nd Shot は Pin までの距離感が大事。Green 手前に Pin が切っていれば、載らなくても Approach で寄せ One がとれる。Green 奥に外すと寄せはムズイ。
- Pin が Green 奥に切っていて Long Putt が残ると距離感が非常に難しい。傾斜を何度も注意深く読みたい。



No.12 Hole Par3 【Blue: 198, White: 168~180】

- 難易度の高い Par3。冬場・春の時期は風が右からのアゲインストで距離感が合せ難い。Green 左側は OB ゾーンが近いが Green 外しても左側からは Pin に寄せ易い。Green 右奥はグラス Bunker。左手前の Bunker に入れると Par は非常に難しい、Pin の根元が見えない。左手前の Bunker は比較的易しいが、外しても狙い目は Green 手前。
- Green は奥から手前に下る傾斜だが、Green 上手前の両サイドに軽いマウンドがあり球の転がり時には要注意。この Green は Pin の奥に付けても比較的 Putt で寄せ難くはない。



No.13 Hole Par4 【Blue: 443, White: 385~404】

- Tee Shot は 2nd 地点に左右 OB ゾーンが迫る難易度の高いミドルホール。Boggy でもよい、Par なら儲けものと思ったほうが良いくらい難しいホール。特に左側の 2nd 地点はコーナーに向かって球が転がる危険な避けるべきサイドなので要注意。逆に右側の壁のような斜面を利用するのも一案。よって、Tee Shot はフェアウェイ右半分狙い。
- Regular Tee からでも 160Yard 以上の 2nd Shot が残り、上りで Green が高い位置にあるので、Two On が難しくなる。Pin が Green 右側だと比較的 Par を取れるが左側だと外しても手前の花道でないと寄せは難しい。特に右手前 Bunker や、左手前のグラス Bunker からの寄せは難しい。
- Green は左奥から右手前に下り傾斜、Pin が左奥に切っていると下からの Putt でも上り傾斜の度合が読み難く距離感が合い難い。つまりかなり上っていることが多いので要注意。かつ、Pin の横に残ってもフック、スライスがきつく Putt の寄せは難しい。必ず Pin そば下目に付けたい。

NO.13H / 443Y Par4



No.14 Hole Par4 【Blue: 402, White: 376~385】

- 冬場の難易度高い 2nd Shot が池越えとなる名物 Par4。Tee Shot は強い北風のアゲインスト。200Yard 近辺から右サイドが Green まで池。それを避け左に打つと右前方の Bunker が待つ、届かなくても、距離のあるアゲインストの池越え 2nd Shot が残る。池ポチャだけは是対避けたい、入るとダボ確実。フックショットは避けるが、Green 右半分狙い。Green 右手前でも OK。
- Green の左側は池、右側は 2 つのガード Bunker。この Bunker に入ると Green の反対側が池ゆえ、距離感が難しい Bunker Shot となる。場合によっては、2nd Shot は Green 手前に運び寄せ One 狙いも視野に作戦練ることを強いられる。
- Green は奥から左手前(池側に緩やかに傾斜)に下り傾斜の受け Green。Pin 手前から攻めたい。

No.14H / 402Y Par4



No.15 Hole Par3 【Blue: 212 or 176, White: 165】

- 崖、池越えの風の方向を読むのが難しい Par3。左手前から風が吹き抜けていて、Tee Ground からでは分かり難い。Green 手前と奥では一番手違う距離の差あり。左右のガード Bunker は避けたい Green 中央狙いのショットが必須。
- Green は奥の両サイドから中央、手前に下る傾斜。Green 手前ほど傾斜がきつい。つまり、Pin が手前で奥に付けると寄せが難しくなる。
- ガード Bunker は左より右の方が比較的容易。左 Bunker からでは Pin の根元が見えないので距離感が難しい。

No.15H / 212Y Par3



No.16 Hole Par5 【Blue: 541, White: 508】

- ・ 距離のある上り傾斜の Long Hole。2nd 地点が右側フェアウェイ Bunker、左側は崖が突き出し OB ゾーンと狭い。右側 Bunker の奥は One ペナゾーン。Tee Shot は距離よりフェアウェイ Keep を優先。2nd Shot は 3rd Shot を 150Yard 以内にもっていけるだろう。そこからが問題。Green は左右の奥が高く手前に急激に下り傾斜の大きい Green。特に左奥に Pin が切つてあると距離感、1st Putt の寄せ共に非常に難しい。2nd Shot でも左側のフェアウェイ Bunker には気をつけよう。
- ・ 3rd Shot はかなりの上りの距離が残るので、一番手上げるかして攻めたい。但し、Pin 手前から攻める原則は守りたい。左右のガード Bunker に入れると Par は難しい。Green 奥に外すと寄せはほぼ絶望的な結果がまっているので絶対 Green Over は避けたい。
- ・ Green は Pin の手前に球を止められたら、左奥の Pin ポジション以外は、Two Putt はそれほど難しくない。



No.17 Hole Par4 【Blue: 383, White: 367】

- ・ 冬場はアゲインストの左 Dog Leg のミドル、Fairway 左側が Tee Shot の狙い目。120 から 150Yard 近辺に Tee Shot をもっていければ最高。左側へのフックは避けるが、右への Push Out は OB ゾーンもあり危険。右サイドのフェアウェイでも距離を若干ロスるが OK。
- ・ 2nd Shot は風が上げているので距離感に要注意。Pin が左奥、左手前に切っている時は Green 右サイドへ Shot を外すことだけは絶対避ける。OB ソーンあり Lucky でも厳しい打ち上げが要求され Approach は奇跡が起こらない限り寄らない。
- ・ Green は中央をはさんで左右に二段 Green 形式。Green の右奥に Pin が切られるとライン出しが難しい。Pin が Green の右半分だと Lucky、比較的易しい。Green 奥に外すのは Bunker が左側、右奥でも Approach が難しい。

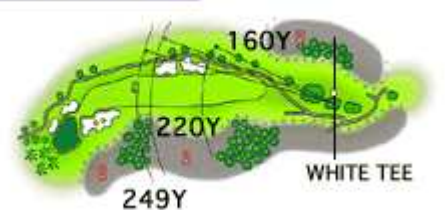
No.17H / 383Y Par4



No.18 Hole Par4 【Blue: 370~416, White: 364】

- ・ 実質的に難易度の高いミドル Finishing Hole。若干の左 Dog Leg で Tee Shot から Green まで上り傾斜。Tee Shot の狙い目は、フェアウェイ右半分。Pin が左目であれば、Tee Shot は絶対左サイドフェアウェイは禁物。2nd Shot がスタミミーになり Pin を直接狙えなくなる。但し、フェアウェイ右側の Bunker に入れると Two On は厳しい。
- ・ 2nd Shot は Green 左手前の大きなガード Bunker には入れない Shot が必要。二打目地点から砲台タイプで受け Green まで上っている所以距離感に注意、一番手くらい上げる必要あり。Pin がどこに切られていても Pin 下に付けること。三打目勝負になったら Green 右手前から攻めること。Green 右手前からの Approach は、一打目がフェアウェイ Bunker に入った場合や、フェアウェイ左側に言った場合 Green が狙い難い場合に攻めるルートとして有効。Green の奥に間違っ外すとほぼ Pin に寄せられない。
- ・ Green は手前から奥にかけかなりの上り傾斜がきつい。Pin の上に付けたら間違いなく Pin に寄せないことを覚悟。左右サイドでも難しい。Count Back で鍵を握るホール。Pin が奥に切られていて、手前に間違っ乗った場合、距離感が難しい、かなりの上りが残っていることを冷静に観察ししっかり目の Putting Stroke を心がける。

No.18H / 416Y Par4



以上